

## 研修参加報告書

(会派：市民クラブ)

### <研修目的>

自治体の財政状況が厳しい中、地方議員は財政状況を正しくチェックし、住民に説明する能力が求められる。このため、健全化判断比率を中心に自治体財政の見方を勉強する。

### <研修概要一覧>

研修月日	講義・演習テーマ	講師
1/18	○地方自治体の財政運営と議員の役割	関西学院大学大学院経営戦略研究科 教授 稲沢 克祐 氏
	○自治体財政指標の見方	監査法人トーマツ行政経営推進室 公認会計士 小室 将雄 氏
1/19	○財政指標分析に関するグループ演習	監査法人トーマツ行政経営推進室 公認会計士 小室 将雄 氏
	○演習のまとめ及び今後の自治体財政のポイント	監査法人トーマツ行政経営推進室 公認会計士 小室 将雄 氏

\*市町村議会議員研修参加者：191名

### <研修概要報告>

#### 講義1. 「地方自治体の財政運営と議員の役割」

- ◆講師：関西学院大学大学院経営戦略研究科教授 稲沢 克祐 氏
- ◆概要：今後の地方財政の動きと問題点の解説があった。

また、地方自治体の財政運営は財政民主主義であり、議会の議決をつうじて市民の承認を受けることから、議員の役割の重要性を再度認識する必要がある。自治体財政に求められる姿とは、財政規律が堅持されていることであり、財政指標を分析し、しっかりチェックをすることが議員の大きな役割である。

#### 講義2. 「自治体財政指標の見方」

- ◆講師：監査法人トーマツ行政経営推進室 公認会計士 小室 将雄 氏
- ◆概要：各自自治体が公表している決算状況調、財政状況資料集の解説と各自自治体財政指標の意味と見方についての解説があった。

### 演習1.「財政指標分析に関するグループ演習」

- ◆講 師：監査法人トーマツ行政経営推進室 公認会計士 小室 将雄 氏
- ◆概 要：特徴的な3自治体の実際の財政状況資料集の数値を読み込み、グループで問題点等を議論した後それぞれ発表。問題点等の解説を受けた。

### 講義3.「演習のまとめ及び今後の自治体財政のポイント」

- ◆講 師：監査法人トーマツ行政経営推進室 公認会計士 小室 将雄 氏
- ◆概 要：演習を行ったことを前提として、健全化判断基準について解説があった。また、現在国が示している地方財政施策のこの間の経過と、今後の流れについて解説があった。

#### <所感①> 澤田 秀夫

「自治体財政の見方について」と題して、財政運営における議員の役割および財政指標の見方、財政指標分析に関する演習、今後の自治体財政のポイントなどについて研修した。

財政指標等の内容については、理解しているつもりであるが、他自治体の「決算カード」を見ながらの分析については、初めての事であり非常に戸惑う部分があった。

各財政指標の数値は、よいにこした事は無いが、表面上の数字だけの判断だけでは、その自治体のやりたい事や目指すべき施策は見えてこないと考える。

本市の財政指標は、決して楽な数値ではないと考えるが、今後の財政計画に向けて少しでも意見提起できるよう更に研究していきたい。

#### <考察②> 原瀬 清正

研修名「自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に～」とした2日間の受講であり、主に財政状況資料集の見方、指標の概要、分析すべきポイントについて研修した。

これまで財政に関する資料の指標等についてよく理解できていなかったが、受講によって資料の見方や指標の仕組みがよく解り大変有意義な研修となった。特に財政状況例(平成27年度資料)として挙げられた平成18年に破綻したY市の指標数値は、市民サービスは当然のことながら何もできない状況にあり、どの様な手立てが必要かと問われても返答に困るほどであった。講師からもそのような状況になる前に何か策を講ずべきであったであろうし、そうならないようしっかりと分析をして議員としての役割を果たして頂きたいとの言葉が非常に印象的であり、本市での責務を改めて重要に感じた。

本市の指標は硬直化している訳ではないが安心できるものではなく、一層の健全化に向けて意見提起できるように研究したい。

<考察③> 岡本早智雄

財政指標の数値とその意味について、その一つ一つを事細かく、またその計算方法まで確認したことは無かったため、大変参考になった。

また、他の自治体の数値を分析する機会があったことで、自治体の大小に関わらず、それぞれの問題点が財政指標を見ることでわかること、また、施策次第で財政状況がガラリと変わることもよくわかった。ただ財政が良ければ良いというわけでも無く、限られた予算で、必要な施策を効果的にどのように実施していくかが重要であると改めて感じた。

そういった意味で、本市の施策をしっかりとチェックしていくために、財政問題と施策の在り方、必要性について調査研究していきたい。

以上